

質疑及び一般質問

令和5年2月21日の各党(会)派代表による代表質問、22日、27日、28日の質疑及び一般質問では、以下の議員が質問しました。

質疑及び一般質問の映像はこちら



○質疑及び一般質問の中から一部を掲載します。

2月22日(水)

質問者

2月21日(火)

自由民主党 大和 勲
自由民主党 伊藤 清
リベラル群馬 後藤 克己
令明 井田 泰彦

2月22日(水)

自由民主党 狩野 浩志
令明 金子 渡
公明党 水野 俊雄

2月27日(月)

自由民主党 萩原 涉
日本共産党 伊藤 祐司
自由民主党 森 昌彦
新時代 矢野 英司

2月28日(火)

自由民主党 神田 和生
如水会 入内島道隆
友信会 追川 徳信
自由民主党 中沢 丈一

2月21日(火)

◎保育士・保育所支援センターの設置について

Q 保育士・保育所支援センターの体制及び取組予定について伺います。

A 群馬県社会福祉協議会「福祉人材センター」の取組「保育士・保育園支援プロジェクト」を発展・拡充させ、「保育士・保育所支援センター」を設置しようと考えています。保育専任のコーディネーターを2名増員配置し、きめ細かい就職支援や、潜在保育士の復職支援など、保育士の確保に向けた総合的な取組を展開します。加えて、運転業務者など園を支える保育士以外の人材の確保や、幼稚園の支援も行い、本県の保育充実に取り組んでまいります。



現在の窓口「福祉人材センター」

◎高校生世代までの医療費無料化について

Q 子ども医療費の無料化について、県全体での高校生世代までの拡大を表明されたが、このような決断に至った知事の思いを伺います。

A 「県民の幸福度を上げる」ことこそが、知事に就いたときの原点であり、究極の目標です。高校生世代まで対象を広げれば、医療費の支援に関しては全国で最も手厚い県となります。財源負担は増えますが、子育て支援や移住の促進に与える効果は非常に大きいと考え、決断しました。なるべく早期に、県内一律で、条件なしで高校生世代までの無料化を実施できるよう調整を進めてまいります。

◎Web3.0の活用推進について

Q Web3.0を形成する仕組みのひとつであるDAO(※)を関係人口の創出に活用できると考えますがいかがでしょうか。

A DAOは、グローバルな規模で多くの人々が個々の興味に応じた活動に参加できることから、多様な働き方や自己実現の支援にもつながり、社会課題解決や新たな価値創造への活用が期待されています。DAOの仕組みは、関係人口の創出に加えて、官民の多様な主体による課題解決にも応用できると考えます。令和5年度は、国内外の実態調査や適切な在り方の研究を進め、最適な活用方法を模索してまいります。

※DAO(ダオ)…「Decentralized Autonomous Organization」の略称。「分散型自律組織」という意味で、特定の所有者や管理者が存在せず、参加者による自律的な運営を目指す組織形態のこと。

◎関根発電所の浸水事故に係る知事への報告について

Q 企業局内での報告・連絡・相談は迅速になされていたようですが、知事に対する事故報告が迅速に行われていないのではないのでしょうか。組織上、ガバナンスに問題があったのではないのでしょうか。

A 事故の説明は受けていましたが、騒音については承知していませんでした。地元住民が騒音で苦情をおっしゃった事実について、知事として、把握できていなかったことを率直に反省しています。組織内部の連絡体制を見直すとともに、再発防止にも努めてまいります。

◎群馬県の農政予算の確保について

Q 群馬県の農業振興を図るためには、意欲ある農業者が取り組む機械や施設等の設備投資及び飼料の高騰対策等に対し、県として積極的に支援するための十分な予算を確保する必要がありますかと思うかがでしょうか。

A 令和5年度当初予算案及び2月補正予算案では、これまでの資材高騰に対する緊急的な影響緩和策に加え、経営改善に取り組む担い手に対する機械・施設等の導入支援、畜産農家に対する自給飼料の増産に必要な機械の導入支援等の予算を本議会にお諮りしています。今後も、群馬県農業の持続的発展と食料の安定供給に向けた施策を実施してまいります。



自給飼料の増産に必要な機械

◎小児医療センターの課題及び他県の状況について

Q 建替再整備の方針を決定した理由の一つとして、子ども専門病院特有の課題が顕在化しているとのことですが、具体的には何か。また、他県の子ども専門病院はどのような状況か伺います。

A 成人後も受診している方が生活習慣病等を発症した場合や、妊婦が重篤な症状に陥った場合に、対応できる診療体制が整っていないことが課題です。他県の子ども専門病院では、総合病院との連携等により対応しているため、再整備に当たっては、これらもよく調査した上で、参考としてまいります。



再整備が決まった小児医療センター

活動紹介

特別委員会

◎約1年をかけて検討・議論を重ねてきた4つの特別委員会から3月7日、知事あてに提言を提出しました。

■新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

「新型コロナウイルス感染症対策に関する提言」として、「社会経済活動再開に向けたガイドライン」等に関すること、経済対策に関すること、相談・検査・医療体制に関すること、教育環境に関することなど、新型コロナウイルス感染症対策への備えに関する16項目及び感染症法上での位置付けの移行に当たって留意すべき2項目について提言しました。

■子育て・障害者支援に関する特別委員会

「子育て・障害者支援に関する提言」として、ヤングケアラー、子育て支援、少子化対策、教育イノベーション、障害者の雇用・就労支援、農福連携及び障害者の芸術文化活動に関して、子育て・障害者支援の推進に当たって積極的に取り組むべき37項目について提言しました。

■環境・エネルギー対策特別委員会

「環境・エネルギー対策に関する提言」として、再生可能エネルギー導入等について、グリーンイノベーションの推進について、再生可能エネルギー設備等の廃棄について、環境教育の充実について、EV(電気自動車)の普及促進について、食品ロス「ゼロ」に向けた取組についてなど、環境・エネルギー施策の推進に当たって配慮すべき16項目について提言しました。

■地域活性化・魅力発信に関する特別委員会

「地域活性化・魅力発信に関する提言」として、移住促進に関すること、公共交通に関すること、リトリート推進に関すること、ぐんまの魅力ある観光地づくりに関すること、デジタル化推進に関すること、登山道・山岳観光に関することなど、アフターコロナを見据えた地域活性化・魅力発信の推進に当たって配慮すべき26項目について提言しました。